

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立備前緑陽高等学校														
実践者等		橋本 拓哉	実践日	令和4年随時												
実践場面		数学A（単元の区切りなどに随時）														
対象生徒（学年等）		総合学科1年														
育成を目指す資質・能力		■知識・技能 □思考力・判断力・表現力等 □学びに向かう力・人間性等														
分類	授 業 中	□クラウドやアプリの活用 ■デジタルデータの保存 □思考やデータの可視化														
		□データの共有や共同編集 □対話を充実させる活用 □思考を促す活用														
		□表現を充実させる活用 ■課題のやり取りと評価の支援 □効率化や省力化														
		□その他（ ）														
	家庭学習	□振り返り □探究 □反転学習 ■補習・定着														
実践の内容																
【本時】 ・授業冒頭に確認テストを行う。その際、紙に解くとともに、指定した Forms から回答データを入力する。 ・自己採点する際に、Forms に入力されたデータから、どのような回答がされているかを共有し、確認する。																
9/15（木）AB数学Aスタンダード小テスト アカウントを切り替える このフォームを送信すると、メールアドレスが記録されます *必須 次の1～2を解くこと。 3ポイント 1. 2個のさいころを同時に投げるとき、目の和が7になる確率は□ア□である。 □ア□に入る数を半角で入力せよ。 (分数は既約分数で割にならって入力すること (例) $\frac{3}{5}$ ⇒入力は「3/5」) 回答を入力 質問 回答 設定 合計点: 10 準備はいいですか？合図があったら次へを押してください。 次の1～2を解くこと。 11件の回答 コピー <table><tr><td>1/18</td><td>1/6</td><td>1/6</td><td>1/6</td><td>1/6</td><td>6/11</td></tr><tr><td>1 (9.1%)</td><td>6 (54.5%)</td><td>1 (9.1%)</td><td>1 (9.1%)</td><td>1 (9.1%)</td><td>1 (9.1%)</td></tr></table> (生徒入力フォーム) (生徒の回答を確認)					1/18	1/6	1/6	1/6	1/6	6/11	1 (9.1%)	6 (54.5%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)
1/18	1/6	1/6	1/6	1/6	6/11											
1 (9.1%)	6 (54.5%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)											
【本時と事前の家庭学習の連動】 (本時前) ・事前に授業内とクラスルームのストリームで確認テストの出題範囲を示す。 (教科書の例題番号等の具体的な場所を示す。) ・本時の授業までに、範囲内の復習をさせる。 (本時後) ・Forms に正答を追加配信し、必要に応じて生徒が振り返ることができるように設定する。																
橋本拓哉 10:13 【スタンダード小テストについて】 次の11/14の授業最初に行う小テストの範囲は次のとおりです。 しっかり勉強してください。 <範囲> 条件付き確率 (授業で取り扱ったくじの問題と袋の中の玉の問題) クラスコメントを送信																